

科目名				授業の種類		授業担当者	
言葉B指導法				演習		水口 崇	
学年	単位	時間数	授業回数	履修時期	選択・必修		
2	1	30	14	後期	卒業:選択	幼免:選択	保育士:選択
<p>[授業の目的・ねらい]</p> <p>(1) 自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わうことを理論的に学ぶ。 (2) 人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わうことを理論的に学ぶ。 (3) 日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、先生や友達と心を通わせることを学ぶ。</p>							
<p>[授業全体の内容と概要]</p> <p>領域「言葉」については、1学年と2学年でそれぞれ「言葉A」と「言葉B」が設定されている。「言葉B」では、言語そのものや言語の発達について、理論的な側面を学ぶ</p>							
<p>[受講上の注意事項]</p> <p>特になし</p>							
<p>[使用テキスト]</p> <p>特になし</p>				<p>[評価基準]</p> <p>授業に加え、自習によって知識・技能が高まっている。レポート(50%)と試験(50%)によって評価を行う。</p>			
[授業の日程と各回のテーマ・授業内容]							
回	項目		授業内容				
1	オリエンテーション		科目の性格と位置づけ				
2	子どもの言葉		乳児期から学童期初期までに言葉を概観する				
3	子どもの認知		言葉の基礎となる乳児期から学童期初期までの認知を概観する				
4	胎児・新生児期		後の言語発達に影響を及ぼす母胎内の要因				
5	乳幼児の知覚		音声言語の獲得に影響を及ぼす聴覚(聴知覚)				
6	乳幼児の言語発達		前言語期				
7	乳幼児の言語発達		言語期				
8	乳幼児期の社会的認知		言語発達と社会的認知				
9	乳幼児期の認知の基礎		言語の発達と思考力について				
10	乳幼児の高次精神機能		言語を用いたヒトの思考について				
11	乳幼児の概念の発達		言語(単語・概念)の形成				
12	乳幼児の因果推論		言語的思考である因果推論				
13	乳幼児期の論理推論		言語的思考である論理推論				
14	乳幼児期の反事実的推論		言語的思考である反事実的推論				
15	まとめ		試験とまとめ				